

八戸運輸区分会第35回定期大会開催！

職場で現れている「ウソ・隠ぺい・ごまかし」ともとれる会社体質を許さず
JR東労組から職場の安全風土を創り上げる決意の分会大会！！

八戸運輸区分会は9月4日、八戸市上長公民館にて第35回定期分会大会を開催し、職場で現れている「ウソ・隠ぺい・ごまかし」の会社姿勢に立ち向かい、風通しの良い安全風土・職場風土をJR東労組から創り上げる強い決意を打ち固めた分会大会となりました！



2023年8月9日、八戸線435Dでワンマン自動放送が流れず八戸駅を13分遅発した事象が発生。車両の処置によって不具合は解消したものの、この遅れにより上りの行き違い列車も遅れてしまい、新幹線不接続となりお客さまのみならず駅で働く組合員・社員に多大な迷惑をおかけする事態となりました。

今回の事象は、1430D～435Dの運用の中で、1430D運転士が八戸駅到着後の新運転台(久慈方)にて「運転台選択スイッチ」を「前」として乗り継ぐべきところ、「ワンマンNFB」を「入」、「ワンマン系統設定」と435D運転士が行う作業を行い、さらに所定の作業にはない「自動放送停止ボタン」を扱い、ボタンを扱ったことを435D運転士に引き継がなかったために、435Dの運転士は車両不具合と判断して、処置のため列車が遅れたという事象です。

正しい報告をした運転士に対して、当直が隠ぺいを示唆と思われる言動…？その結果、数日間にわたり発生原因はわからない異例の事態に！

1430D運転士は自らの取扱いで事象が発生させてしまったと思い、正しい報告をしました。しかし、報告を受けた当直からは「おおごとにしなくていい」「自山の石にしておけ」などと隠ぺいを示唆する言動を受けました。このことで事象が正しく共有されず、事象発生から数日が経過しても原因が特定されませんでした。

運輸区分会は事実関係をつかむため1430D運転士から話を聞き、「自分がやってしまった」「当直からおおごとにしなくていいと言われた」ことを確認しました。一方、事実確認と発生原因が特定されない中で、隠ぺいを示唆したと思われる当直は、通常通り当直業務を行っていることが明らかになりました。**安全を守り再発防止を図るために「正しく速やかな報告と迅速な事実確認」を乗務員は常日頃求められている中で、管理者は当てはまらない道理は通用しません！**

